



ぼくらのまちを良くするために
たくさん考えて決めているんだね。

地方公共団体の予算書は、分厚く、数字だらけで、わかりにくいといわれています。
北本市の予算書も、400ページ以上にわたり、「歳入予算」や「歳出予算」が、款、項、目という区分により表示されています。予算書の内容は、一般的に聞きなれない用語や数字がならんでいて、市民の皆さんには理解しにくいかもしれません。
そこでこの特集では、北本市の予算の仕組みや概要について、わかりやすくお知らせすることを心がけました。限られた予算の中で最大の効果が生み出せるようにと編成した予算について、市民の皆さんに関心を持っていただき、少しでも身近に感じていただければと考えています。

特集 北本市の予算をわかりやすく解説 ～平成26年度 予算の紹介～

だれでもわかる! カンタン 予算入門



北本 まなぶくん
(小学6年生)



杉野先生
(北本市財政課)

予算とは、市の1年間の収入と支出の計画であり、まちづくりの設計図といえます。私たちのお金がどのように使われ、暮らしの中でどう役立っているのかを知ることが市民役のまちづくりの出発点です。

市に入るお金について



市に入るお金って
どういうものがあるの?

みんなが納めている税金、国や県からもらえるお金、銀行などからの借入れや施設の使用料などがあるよ。

国や県からもらえるお金っていうのは、お小遣いみたいに自由に使えるものなの?

国の代わりに市が仕事をすれば、その仕事に必要なお金の一部がもらえるというように、ちゃんと使い方が決まっているものもあるんだよ。

何にでも使えるわけじゃないんだね。

「歳入」の詳しい内容は3ページ

市に入るお金には、「自主財源」と「依存財源」の2種類があります。「自主財源」とは市が自主的に調達できる収入のことで、市税や分担金、使用料などです。「依存財源」とは、国や県から交付されたり割り当てられたりする財源や銀行などから借り入れる市債などです。「自主財源」の割合が大きいほど財政が安定し、自主的な事業を多く行うことができます。自主財源の多くは市税であるため、定住促進や企業誘致の推進などにより、経済の活性化を促し、財源の確保に取り組む必要があります。

お金の使い道は?



どんなことに
お金を使っているの?

身近なところで考えると図書館の本1冊から、君が学校に行くときに通る通学路を整備したり、学校を建てたりするお金まで、色々なことに使われているよ。

そうやって必要なお金を足していって予算ができあがるんだ。もちろん支出と同じだけ収入が必要になるから、いるものといらないものをしっかり判断して、無駄遣いしないように計算しなくてはいけないんだよ。

お小遣いが足りなくなったら欲しいものを我慢するのと同じだね。ところで北本市は今年度、どんなことにお金を使うの?

主な事業としては、(仮称)こどもプラザの建設事業や防犯灯のLED化事業、太陽光発電装置設置事業などを予定しているよ。

「主な事業」の詳しい内容は4・5ページ

「歳出」の詳しい内容は3ページ

市の歳出予算は、市の仕事が多岐にわたる(目的)の仕事なので分けてあります。主なものとしては、医療や生活保護、児童手当など扶助費とよばれるお金の多くが含まれている**民生費**や、道路や河川、公園などの**公共施設**を作ったり修理したりするための**お金の**ある**土木費**、学校の建設・管理、生涯学習、文化財保護などのために使われる**教育費**などがあります。

予算ってどんなもの?



そもそも「予算」って何?

1年間でどれだけのお金が入ってくるか、どんなことにお金を使うかをまとめたものだよ。

「予算」って必要なの?

君の家にだって予算はあるんだよ。ご飯や電気代にいくら必要で、家のローンを払って君にお小遣いをあげたらこれだけ残るから、あとは貯金しようっていうお金のやりくりも予算って言えるんだ。

へー。市役所も同じことをしているんだね。

うん。市役所には色々な仕事があって、道路をきれいにしたり、みんなが病気にならないように予防接種をしたりするのも市役所の仕事なんだよ。そして、その仕事をするのにどのくらいお金が必要なのかを考えるのが**予算**なんだ。

あんまり気にしてなかったけど、僕たちの生活にとって大切なものなんだね。

予算ってどう決まるの?



予算って
どうやって決めるの?

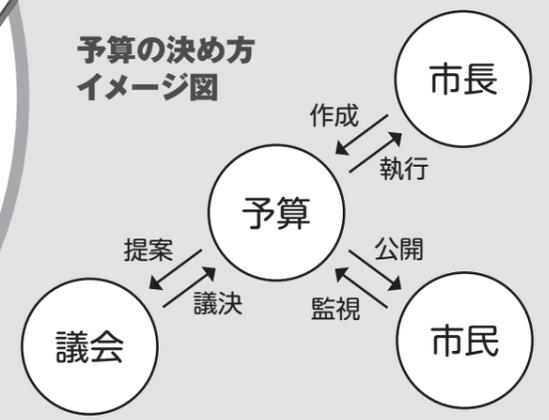
市役所の担当が市民の皆さんの意見や要望を聴いて、それを市長と話し合って1年間のサービスを検討するんだ。それを議会で認めてもらうと、予算が決まるんだよ。

議会で認められないこともあるの?

そうだよ。北本市でも雇用保険制度の育児休業取得者を対象に給料と育児休業給付金の差額分を全額支給するという新しい事業について、議会から「事業の実施には慎重な議論検討が必要である」という意見が出て、この事業費が予算案から削除する修正がなされたんだ。

一つひとつの事業についてみんなで話し合って、予算は作られているんだね。

予算の決め方イメージ図



今年度 **力** を入れる主な事業

ちから

子育て

■ 病児保育事業 2,299万円

保育園に通うお子さん等を対象に、病気中や病気の回復期で集団保育が困難であり、仕事などの事情で保護者が家庭で育児できないときに、一時的にお預かりする「病児保育事業」を北里大学メディカルセンターへ委託します。また、病児保育室整備に必要な経費を北里大学メディカルセンターに助成します。

■ 待機児童解消 対策事業 330万円

年度途中に発生する待機児童を解消するため、待機児童の発生が見込まれる年度途中に新たに保育士を確保して児童の受入れ人数を増やし、年度当初の受入れ人数を上回って児童を受け入れた民間保育園に経費の一部を助成します。



■ 小学校少人数学級 事業 2,058万円

従来より小学校1・2年生で実施してきた少人数学級を、市費教員の採用により新たに小学校3・4年生でも実施し、きめ細かな指導による学力向上を図ります。



交通

■ 市内バス路線充実事業 1,000万円

人口が集中していながら公共交通の空白地域である南団地周辺や東間・深井地域などで、新たに路線バスを運行する民間事業者に対して経費の一部を助成し、運行支援を行うことで、市内公共交通の充実を図ります。

■ デマンドバス運行事業 3,037万円

平成23年度より本運行をしているデマンドバスについて、利用者ニーズに対応するため、現行の3台から車両を1台追加し、交通利便性の向上を図ります。



※写真は現行のもので

文化・芸術

■ 東京藝術大学連携事業 1,100万円

市で取り組んでいる芸術文化活動を東京藝術大学と連携して行うことで、既存事業の取組み方法の新しい発見や北本の魅力の発信を行い、芸術文化活動の活性化を目指します。また、身近で質の高い芸術に触れる機会を提供し、北本市の芸術文化レベルの向上を図ります。

■ 石戸城跡四の郭保存整備事業 6,088万円

現在、展望広場等を備える遺跡公園としての整備・活用を計画している「石戸城跡」について、平成26年度は「四の郭」周辺の公開に向けた保存整備を実施します。



北本市は今年度、
どんなことにお金をつかうの？

では、前ページで学んだ「歳入」と「歳出」の
具体的な内訳と、主な事業について見ていこう



一般会計予算は
204億8,000万円
前年度比0.4%増

福祉や教育、道路整備など市が行う基本的な仕事のお金をまとめたものを一般会計といいます。平成26年度一般会計当初予算は、前年度当初予算に比べ、9,000万円(0.4%)増の204億8,000万円となり、過去最大の予算規模となりました。一般会計予算の具体的な内訳は下のグラフのとおりです。

歳入 204億8,000万円



前年度比 +2.2億円

市たばこ税は減少するものの、個人市民税、法人市民税、固定資産税および軽自動車税などが増加し、前年度予算より2.2億円の増加となりました。

前年度比 +1.3億円

(仮称)こどもプラザ建設工事や市役所新庁舎建設工事などの大規模事業実施のため、前年度予算より1.3億円の増加となりました。

歳出 204億8,000万円



前年度比 +5.3億円

臨時福祉給付金支給事業、(仮称)こどもプラザ整備事業(児童館)などにより、前年度予算より5.3億円の増加となりました。

前年度比 +2.3億円

小学校少人数学級事業、東京藝術大学連携事業、石戸城跡四の郭保存整備事業などにより、前年度予算より2.3億円の増加となりました。

用語解説

市税	皆さんが北本市に納めた税金です。
市債	事業を行うために国や銀行などから借り入れるお金です。
国庫支出金	皆さんが国に納めたお金の一部です。特定の目的を達成するために市へ交付されます。
地方交付税	皆さんが国に納めたお金の一部です。地方公共団体の財政状況に応じて配分されます。
繰入金	各種基金(貯金・運用資金)を取り崩して使うお金です。
民生費	児童、高齢者などの支援や生活保護などにかかる経費です。
総務費	庁舎などの管理、財政管理、市税の賦課徴収、戸籍など市役所の全般的な仕事にかかる経費です。
教育費	学校の建設・管理、生涯学習、文化財保護など教育行政にかかる経費です。
土木費	道路、河川、住宅、公園などの公共施設の整備や維持管理にかかる経費です。
公債費	市債の返済金です。
衛生費	予防接種などの健康管理や疾病予防、ごみの収集や処分などにかかる経費です。
消防費	火災、風水害、地震等の災害から皆さんを守るための経費です。

第四次 北本市総合振興計画に基づく その他の主な事業

未来につなぐ夢のある学びのまち **生涯学習・教育**

- (仮称)こどもプラザ整備事業(こども図書館) **1億4,603万円**
親子がともに本に親しめるこども図書館を11月にオープンします。
- 子どもたちと地域をつなぐ工場見学会 **65万円**
地元企業である「関東グリコ株式会社」、「富士重工業株式会社埼玉製作所」の協力を得て、市内小学校3年生を対象に工場見学会を実施します。

心かよう健やかなまち **保健・福祉・医療**

- (仮称)こどもプラザ整備事業(児童館) **2億9,638万円**
子どもたちの遊びの拠点となる児童館を11月にオープンします。
- 健康なまちプロジェクト事業 **99万円**
生涯を通じて健康で自立した生活を送れるよう、家庭における子どもたちの健康づくりを応援するための栄養教室や親子で歩けるウォーキングマップの作成を行います。

緑輝くうるおいのまち **環境・景観**

- 太陽光発電装置設置事業 **9,720万円**
市役所新庁舎屋上に太陽光発電装置を設置します。
- 市民緑地保全事業 **600万円**
新たに指定する市民緑地の下草刈りや間引き伐採を実施します。また、既に指定されている市民緑地の整備を行い、利用しやすい環境を整えます。

▼より詳しい情報は▼

北本市の財政について、詳しくはホームページをご覧くださいませ。

ホーム

▼
市政情報

▼
財政



<http://www.city.kitamoto.saitama.jp/shisei/index.htm#zaisei>

快適で安心・安全なまち **都市・生活基盤**

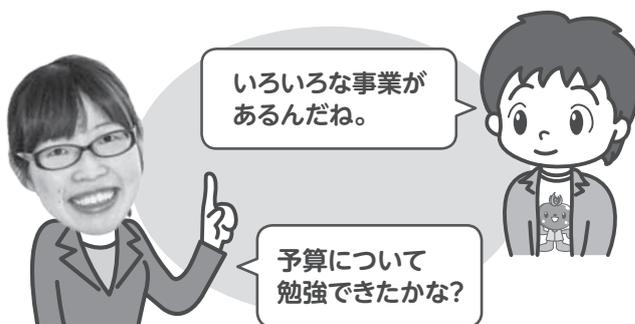
- 防犯灯LED化事業 **1億3,328万円**
埼玉県緊急雇用創出基金補助金を活用し、市内の防犯灯を蛍光灯からLED灯に交換します(交換予定数3,000基)。
- 北本市拠点防災倉庫建設事業 **7,520万円**
防災力の向上を図るため、拠点防災倉庫を建設します。

「業」を耕す活力のまち **産 業**

- 真っ赤な誘惑北本トマトカレー
レトルト化事業 **30万円**
ご当地グルメ「真っ赤な誘惑北本トマトカレー」のレトルト化を、観光協会と連携し開発に着手します。
- オープンガーデン、イルミネーション
PR事業 **30万円**
まち歩きを高めるため、積極的にガーデニングやイルミネーションに取り組んでいる市民の活動を広くPRします。

みんなでつくる参加と交流のまち **市民自治**

- セーフコミュニティ推進事業 **1,091万円**
地域の誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりを進めるため、平成26年度中に県内初となるセーフコミュニティ認証取得をめざし、海外の審査員を招いて現地審査を受けます。



予算とは皆さんからお預かりした税金をどのように使うかを決めたものです。市が行う事業はたくさんありますが、限られた財源の中で、必要性や優先順位を考えながら事業を選択しています。

平成26年度予算では、市のまちづくりの重要な指針である第四次北本市総合振興計画に掲げる将来都市像の実現に向けた施策・事業を中心に、子育て支援や市内公共交通の充実、文化・芸術活動の振興に重点を置きました。

今後も引き続き行政改革に取り組み、健全な行財政運営に努めながら、市民福祉の向上と本市の発展に向けて、市民と行政との協働によるまちづくりを推進していきます。

まよめ

次号の特集は「北本市の文化財」を予定しています。